

第32回宇宙政策委員会 議事要旨

1. 日時：平成26年12月11日（木） 15:00-16:00
2. 場所：内閣府宇宙戦略室大会議室
3. 出席者
 - (1) 委員
葛西委員長、中須賀委員、松本委員、山川委員、山崎委員
 - (2) 政府側
阪本内閣府審議官、小宮宇宙戦略室長、中村宇宙戦略室審議官、頓宮宇宙戦略室参事官、内丸宇宙戦略室参事官、森宇宙戦略室参事官
4. 議事要旨

○ 新「宇宙基本計画」（素案）及び新「宇宙基本計画」工程表（素案）に関する意見募集の結果について

新「宇宙基本計画」（素案）及び新「宇宙基本計画」工程表（素案）に関する意見募集の結果について、事務局より報告があり、その後、これについて審議を行った。意見募集の結果については、次回の宇宙政策委員会において審議し、公表することになった。

主な意見は以下の通り。

- ・参考資料1（新「宇宙基本計画（素案）」）のP23 調査分析・戦略立案機能の強化について「関係機関には学術機関が含まれるのか」という意見があったようだが、「関係機関」には「学術機関も含まれる」という理解であるので、本項目の担当省に文部科学省を含めるべき。また、JAXAの調査分析機能の強化は調査分析部会で決定した方向性であり、この観点からも文部科学省を含めるべき。
- ・準天頂衛星等の個別のプロジェクトに対して、ポジティブな意見とネガティブな意見の両方が出ている場合には、概要版においては両方ともオープンに公表すべき。
- ・宇宙基本計画をよく読んだ意見が多いため、宇宙政策について関心や意識が高く、詳しい人がパブリックコメントに意見を出したものと考えられる。一方、宇宙政策に詳しくない人にとってはパブリックコメントは敷居が高い可能性がある。
- ・公務員からの意見提出が少なかった。これは宇宙政策を実施している地方自治体が少ないことが一因ではないか。
- ・JAXA以外も含めた宇宙技術一般の広報の取組は重要であり、具体化して推進すべき

以上